

# 広がる独自の世界 山形美術館、近藤亜樹さん絵画展

2021/11/6 10:59

本県を拠点に創作活動を展開し、注目を集めている近藤亜樹さん（34）の絵画展「近藤亜樹一星、光る」が5日、山形市の山形美術館で始まった。色とりどりの花や動物、日常の光景などを描いた独自の世界が広がり、命の尊さを訴えている。来場者は色鮮やかな近作や、20代に描いたグレーがかった作品を見比べながら楽しんでいた。

近藤さんは札幌市出身で、2012年に東北芸術工科大学大学院修了。会場には、自然豊かな山形に影響を受けて仕上げた近作▽東日本大震災などを題材にした20代の作品▽花や母子など身近な光景を描いた「ここにあるしあわせ」シリーズの3ブースを設け、計48点を展示している。

オレンジ色の紅花の花かごが目を引き「ただいま山形」や、津波で泥まみれになった写真をモチーフにした「記憶する家」、こけしを抱く少女を描き、山形で生きていく決意を表現した「ふるさと」など大胆な構図と力強い筆致の作品が並ぶ。東根市鷺ノ森2丁目、自営業大谷純奈さん（33）は「色が明るく、命が輝いているように見える絵がいい。元気とパワーをもらった」と話した。

展示は23日まで。作品はフラッシュなしで写真撮影可能。最終日の23日は午前11時と午後1時半から、油絵のコマ撮りと実写を組み合わせた短編映画作品「HIKARI」（2015年製作）を上映する。問い合わせは山形美術館023（622）3090。



大胆な構図と力強い筆致で描かれた作品が並ぶ絵画展「近藤亜樹一星、光る」＝山形市・山形美術館